



台船に積んだジャッキで持ち上げられ、慎重に撤去される鳴尾橋の橋桁。2日午後、西宮市（撮影・斎藤雅志）

NEXTに動画

昨年の台風で損傷 西宮・鳴尾橋 橋桁420トン持ち上げ撤去

昨年9月の台風21号で船舶が衝突した西宮市の鳴尾橋（県道芦屋鳴尾浜線）で2日、損傷した橋桁が撤去された。現場の水深などからクレーン船が使えず、台船に積んだジャッキで橋桁を下から持ち上げる珍しい工法が用いられた。9月末に全面復旧の見込みで、それまで全線通行止めとなる。

兵庫県西宮土木事務所によると昨年9月4日、停泊中の船舶が強風で流され、甲子園浜と鳴尾浜を結ぶ鳴尾橋に衝突、橋桁が約40メートル離れた。昨年末から東行きのみ通行可としたが、工事に伴い6月中旬から再び全線通行止めとしている。

現場は水深が浅い上、阪神高速湾岸線が並走し、作業効率のいいクレーン船が使えなかった。このため台船に6台のジャッキを積み、潮位の上昇も利用しながら長さ約60メートル、重さ約420トンの橋桁を持ち上げ撤去した。新しい橋桁も同じ方法で設置した後、道路の舗装などを行う。

全線通行止めの間は、国道43号、2号の利用を呼び掛けている。同事務所 ☎0798・39・6126（中川 恵）

名前【 】

- ① この記事の見出しは「橋桁420トン持ち上げ撤去」です。420トンの橋桁をどのように持ち上げたのでしょうか。

- ② 昨年9月の台風21号は近畿地方に甚大な被害をもたらしました。この時大阪府ではタンカーが関空連絡橋の橋桁に衝突しました。なぜ船やタンカーが橋桁に衝突してしまったのでしょうか。

- ③ 兵庫県西宮土木事務所は、鳴尾橋が全面復旧するまで近くを通る道路を利用するよう呼び掛けています。その2つの道路名を書きましょう。